


11/4 つよそうなきがきた
 (ばあむ) (おいのり) → イザヤ 36:18~20



Ⓚ とんや こんなんがおこつたとしても
 神さまにたよりつづけられますように



11/6 (水) 「主のことばのとおり」
 イザヤ 37:33~37
 ユダの王ヒゼキヤの祈りに、神さまは預言者イザヤを通して答えてくださった。
 * 神さまこそがすべての支配者であること
 * ユダの王国については、せめらゆは「ことば」
 国は荒れたが、神さまが回復させてくださるよ。
 33~36 ♡ チャレンジ!
 「主のことば」に「はたして」
 「彼は、もともと道を引き直し、 34セツ」
 「この都には入らない - 800000 -」
 36セツ、びっくりだね! 33-35の「主のことば」の
 とおり、敵は都に入ることもなく、
 敵の陣営で神さまに涙は「されたんだ」!
 ユダ王国は神さまに救われ「たんだ」
 神さまの「ことば」はそのとおりになること
 かんじします。

11月7日(木)イザヤ38:1~5
 「神さまに祈り、願う」

 ヒゼキヤ王は、神さまをおそれ、信じていたのを、祈りました。
 神さまは、祈りをきかれ、ヒゼキヤ王は病弱から回復しました。
 「...あなには私のあがての罪を、あなへのうしろに投げやらせよ」
 神さまは、私たちのことを考えてくださり、私たちのいのちをきいごなさいませう。私たちが愛しつづけて下さる神さまを信じたい!!!

11/8 (金) 何をするか基準
 おいのり イザヤ 39:4~8
 37章や38章で心を尽くして、神様に頼って祈っていたヒゼキヤ王だけに、今宵の箇所では神様以外のバビロンという国に頼る気持ちが出てきたよ。
 それだけでなく、自分の子どもに官宦になる(刑罰の一種を受ける)着がいと聞いて、我が子を心配するのではなく、自分が生きている間の平和だけで安心したんだ...それは神様が願う良いことではないんだ。
 「心配しなくて良いのです。必ずであることは、あなたがたの天の父が知っておられます。神様は、私たちが平和な心で、バビロンに頼るう! 我が子が官宦になっても、自分が平和な心で、守心だ」
 お祈り イエス様を信じて、心配から守られる心を下さい。

11/9 (土) おどろくほどの大きな愛
 イザヤ 40:1,2
 イスラエルは神さまに反抗し続けていたけれど...
 神さまは優しいお父さんのように、子どもが悪いことをするとこらしめる方だけだ。
 大きな愛であわれんでゆるしてなくさめてくださる方だよ!
 イエスさまの十字架のゆるしにそのことがあらわれているよ。
 神さまの大きな愛とあわれみをおかた。

11/10 (日) 栄光に満ちた主
 イザヤ 40:28,29,31
 他の国や神では、その神として振り頼む人々に預言者イザヤは神のことばを語り。
 主は永遠の神。地の果てまで創造に力。疲れぬ心。弱くはく。その英知は測り知れぬ。疲れに者には力を与え、氣力の小さい者には勢いを与えられる。主を待ち望む者は新しく力を得、わしのよりに翼を広げて上るこが出来る!!
 ↑ これは神である主。あはれのこが、神様の語りかけにこえ、恐れを捨て感謝して愛を取り戻す。